

感染状況・医療提供体制の分析(2月9日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (2月2日時点)	現在の数値 (2月9日時点)	前回との比較	分析コメント
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	6771人 (360.7人)	7258人 (386.7人)	→	総括コメント レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要 新規陽性者 <u>人口10万人当たり387人</u> と増加。年代別割合では、20代が減少する一方、10歳未満や60代以上で増加。特に高年齢者が集まる場所でのクラスターが著増。 新規陽性者増加速度の鈍化傾向がみられるが、今後、重症者及び死亡者数増加が予想される。基本的な感染対策(ワクチン接種、マスク着用、手指衛生、3密回避)継続と体調が悪い時は出勤・外出を控えることが必要。
		60歳以上 (総数に占める割合)	1001人 (15%)	1134人 (16%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	3989人	4307人	→	
		県南西部	2332人	2470人	→	
		高梁・新見	72人	38人	↓	
		真庭	70人	47人	↓	
		津山・英田	306人	391人	→	
	市中潜在・感染	③新規陽性者における接触歴不明者	数	1413人 (調査中を除く)	1391人 (調査中を除く)	→
			割合 (③/①)	41.1% (調査中を除く)	39% (調査中を除く)	→
	医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	238人 (43%)	293人 (53%)	→	総括コメント レベル5. 体制が極度に逼迫していると思われる
⑤宿泊療養者数		211人	141人	↓	入院患者・重症者数ともに増加。高齢者の陽性者増加に伴い、中等症・重症患者が増加。救急搬送困難事案や医療従事者の欠勤など通常医療、特に救急医療に対して大きな負荷がかかっている。	
⑥自宅療養者数		4690人	5536人	→		
⑦重症者数		6人	11人	→		